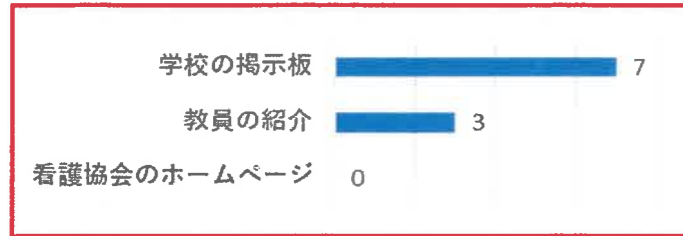




新型コロナウイルスについては、令和5年5月から感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症へと移行されましたが、インフルエンザとの同時流行の兆しもあり、気の抜けない日々が続いています。夏休みには、4校8名の学生が感染に注意しながら、インターンシップを実施しました。



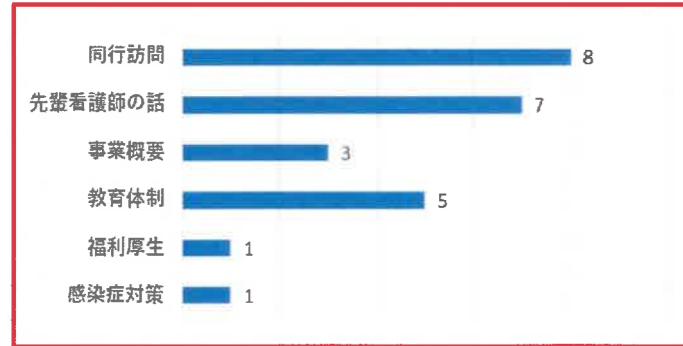
1 インターンシップはどこで知りましたか



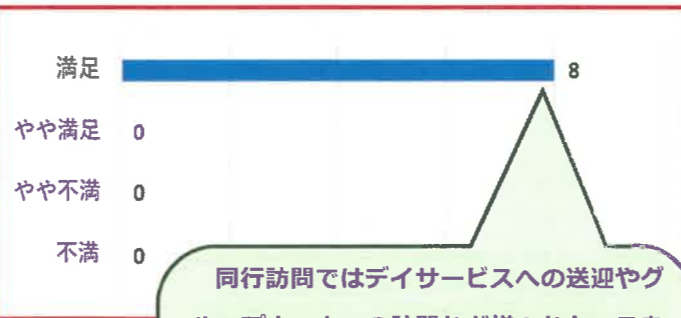
2 参加の動機



3 インターンシップのどんなところに興味がありましたか



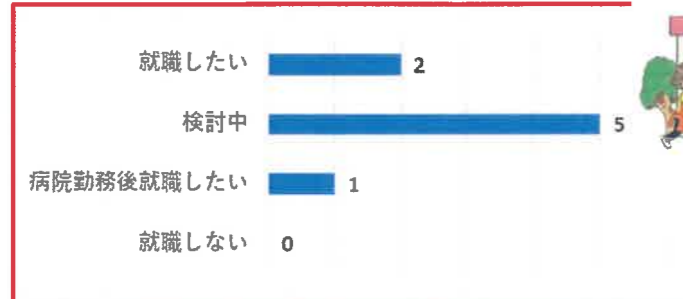
4 インターンシップは満足しましたか



同行訪問ではデイサービスへの送迎やグループホームへの訪問など様々なケースを見学してもらいました。お忙しいにもかかわらず、とても丁寧に对应してくださり学びや発見の多い一日になりました。

学校では学べない訪問看護の現場を見学することができ、とても満足しました♡

5 訪問看護ステーションへの就職について



学生の感想

- ❁自分の目指す看護はやっぱり在宅看護かもしれないと感じた。同行訪問で利用者さんとの関わりを直接見学することができ、私もこんな看護師になりたいと思った。(大学3年生)
- ❁訪問看護師は病院勤務経験がないとできないものと思っていたが、新卒でも可能なバックアップがあると聞いて道が開けた気がした。数日間のインターンシップがあるとよいと思った。(専門学校2年生)
- ❁看護師免許取得後は病院勤務が通常と考えていたが訪問看護の道があることに気づけた。訪問看護は利用者さんのお宅に伺うので、距離感が近くやりがいや責任の強い仕事だと感じた。(専門学校1年生)
- ❁子育て中の新人看護師にとってどういう働き方があるのか考えるきっかけになった。(専門学校1年生)

管理者の感想

- ❁訪問看護に興味を持つきっかけとなる取組みだと思う。質問される内容も具体的に熱心さが伝わり、嬉しく思った。訪問に学生が同行することで、自分でも改めて訪問看護について振り返るよい時間になった。(あいりハ)
- ❁職場について詳しく知ることによって新たな目標や課題を見つけることができ、訪問看護の人材が増えるためには有効な事業と思う。(むかいしま)
- ❁インターンシップの受入れステーションが増えると学生が其々のステーションで体験でき、就職の選択肢が増えると思う。(まり)
- ❁インターンシップ生の受入れは、新しい視点の発見や元気がもらえ、職員にもプラスになる。(「ひろしま」)

訪問看護ステーションで活躍する新卒看護師

今までは、病院勤務の経験のある看護師が訪問看護を担うのが一般的で、看護学生に対してもそのように勧めてきた経緯があります。しかし、近年在宅看護に興味のある学生が、訪問看護への就職を希望するケースが増え、新卒で訪問看護ステーションへ就職する看護師が出てきました。そこで、新卒で訪問看護の道を選択した看護師さんを紹介します。

よしむら ゆい
吉村 柚衣さん

2022年 県立広島大学卒業 看護師免許取得
同年4月 広島中央保健生活協同組合 就職
福島生協病院で6か月のローテーション研修終了後
同年10月より生協コスモスに配属となる



訪問看護をめざしたきっかけについてお聞かせください

学生時代の実習経験から地域看護に興味をもつようになりました。病院にも地域包括ケア病棟がありますが、より地域に密着した看護が実践できると思い、訪問看護を希望しました。

新卒で訪問看護師になることに対してどんなことが不安でしたか。

訪問看護は経験を積んだ看護師が多いというイメージがあり、新卒で知識も経験もない私がちゃんとやっていけるだろうかという不安がありました。今でもそういった思いはありますが、先輩方にフォローしていただきながら働いています。

訪問看護のやりがいをお聞かせください。一方でどんなことがつらいですか。どうやって乗り越えましたか。

訪問看護では利用者さんの生活をもとに、看護の実践やサービス調整を図ります。利用者さんのためにといい、提案したり、実施しても、うまくいかないこともあるが、状況が改善し利用者さんのためになったと実感できたとき、やりがいを感じます。訪問は基本一人で行くのでプレッシャーを感じる場面は多々あります。特に状態が不安定な利用者さんへの訪問や、採血、点滴などの処置がある訪問はプレッシャーが大きいです。乗り越える方法として一番は先輩に相談することです。先輩に相談することで、困ったときヘルプを求めることがスムーズにできるようになりました。

生協コスモス管理者 ^{たかはし ようこ}高橋 陽子さんにも伺いました。



新卒の看護師を受け入れるきっかけを教えてください。

訪問看護ステーションは看護師不足で、募集してもなかなか就職に繋がらない現状があり、若い看護師の採用に至っていません。それなら、新卒看護師を自分たちで育成しようということになりました。

育成にあたり配慮していることはどんなことですか。

同行訪問を繰り返し、一人で訪問ができると本人が思えるようになるまでサポートしています。医療処置も何度か一緒に行き、点滴等難しいときもフォローできるように声をかけています。また、訪問から帰ったら困ったことがなかったかすぐに声をかけます。

訪問看護に配属になってもうすぐ1年になりますが、どのあたりまで自立してできるようになりましたか。

訪問は問題なく行え、自立しています。利用者さんから相談されて困ったり、制度のことで確認が必要な時は、訪問から帰るとすぐに報告や相談をしてくれ対応ができています。今では先輩看護師と同じ訪問ができています。



吉村さんにエールを!

訪問看護は利用者さんの生活の場でその人の生きてきた背景や家族関係など“利用者さんを知る”ことが大切だと思います。「吉村さんが来てくれるから安心」「楽しみに待っている」と言ってもらえるとやりがいにもつながります。たくさんの経験を積んで訪問看護師として成長することを楽しみにしています。

